

(仮称)千里丘図書館の基本設計に係る意見

意見	市の考え方
<p>千里丘地域は吹田市の人口の10%強が居住していますが、この地域には公立図書館がなく、「図書館がほしい」との住民の願い長年の運動がありました。このたびこの願いが行政にとどき、2012年度に(仮称)千里丘図書館の建設が計画されることになったことは大変よろこばしく思います。今回「意見書」をかくにあたって、図書館協議会が2005年11月に提出した中央図書館長の諮問に対する答申「将来を展望した吹田市立図書館のあり方について」を再読しました。「答申」は総じて住民の立場に立って図書館の将来展望とそのあり方について真摯に検討され、優れた答申をされていると感謝しています。</p> <p>さて、すでに千里丘地区は2004年11月の図書館協議会の「(仮称)山田図書館新設計画に関する意見書」で「いわゆる図書館空白地区での整備計画をあわせて検討されるべき」地区にあげられており、その5年後に(仮称)千里丘図書館の基本設計(案)が地域住民に公表されたこととなります。千里丘住民はどんな図書館ができるのか、大きな関心をもって公表される基本設計(案)を待ち望んでいました。それに対する「パブリックコメント」として下記の3点に意見を要約します。</p>	
<p>1) 地域図書館は一定量の情報・資料が集積され、いつでも、無料で気軽に利用できる情報・文化の身近な拠点であり、地域コミュニティの中心にしなければなりませんから、どんな資料や情報が集積されるべきか、どんな図書が求められているのか、常に利用者住民のニーズを反映できるよう図書館職員と利用者との恒常的な協議の「場」を設け、利用者サービスの改善・向上に努めることが必要である。</p>	<p>図書館といたしましても、利用者住民の方々のニーズの把握は重要と認識しており、意見交換のできる会の設置につきまして、他市の事例も参考にしながら研究検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>2) そのためにも図書館職員には、レファレンスや各種の利用者の相談に応じられる高い専門性や豊かな経験が求められるので、図書館業務は外部委託すべきではない。特に小規模な図書館内部での少数の専門職員と外部委託職員間の各種業務の分割はきわめて不合理・非能率的であり、管理・運営に無用のトラブルを生み、利用者サービスに支障をきたすと危惧される。</p>	<p>図書館の運営につきましては業務の効率化を図りながら、利用者サービスの向上につながるよう、様々な手法を検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>3) 建物の延床面積666平米は広くはないので、3階建の可能性は皆無なのかも一度検討していただきたい。また新設図書館にどれほどゆとりのある閲覧スペースや席数が確保されることになるのかも、大いに関心がある。また将来、隣接する千里丘出張所の建て替え時に図書館スペースの拡張を予定した設計は出来ないものか、検討していただきたい。</p>	<p>建物の階数につきましては、隣接家屋との関係や容積率等を勘案し判断させていただいたところです。閲覧スペースや座席につきましては十二分に確保出来るよう設計事務所と協議しているところでございます。また千里丘出張所の将来計画につきましては、将来の地域住民の方々の行政需要によって何が必要になってくるかといった問題もございますので、その時点での十分な論議が必要ではないかと考えております。</p>
<p>2 生まれ育った吹田市を結婚を機会に転出しましたが、子育てのことを考えて吹田市に戻ってきました。小さいころ育った南千里や豊津、江坂地域には図書館を始めスポーツ施設やコミュニティーセンターなどが整っていて、本に触れる機会に恵まれていました。千里丘地域には大型マンションが立ち並び、子育て世帯が急激に増加する傾向にあると思われるにもかかわらず、施設の整備が後回しになっているように思います。「吹田は子育て世帯に優しいらしい」という噂を聞き、近隣自治体ではなく吹田市を選ばれている方は少なくないと思います。図書館や体育館の一刻も早い設置を願います。</p>	<p>千里丘地域の図書館整備につきまして、住民の方々の熱い思いは十分認識しているところであり、図書館の重要課題として取り組んでまいりましたが、このたび千里丘出張所隣の、魚香池跡広場での整備を進めることになりました。今後は住民の皆様のご意見をふまえ、小さいお子さんからお年寄りまで、ゆったりと利用していただける図書館づくりを図ってまいりたいと考えております。</p>

(仮称)千里丘図書館の基本設計に係る意見

意見	市の考え方
<p>千里丘地域は地域住民が利用できる施設が少なく、文化施設などを利用する時には電車やバスを利用して吹田の中心地域まで行かなくてはなりません。このたび長い間地域住民の要望の1つであった千里丘図書館が建設されることになり、とてもうれしく思っています。より充実した図書館が建設されますよう下記のことを要望します。</p>	
<p>3 1.対面朗読室の設置(防音設備、録音設備が設置) 基本設計(案)には対面朗読室が記載されていますが平面図には記載されていませんので強く要望します。</p>	<p>対面朗読室につきましては、防音に配慮した部屋の確保や、音訳用の録音機材等の配備を、目指したいと考えております。</p>
<p>2.多目的室の設置 自習室や人数が多くなった場合の読み聞かせなどに転用できる部屋。</p>	<p>多目的室では、ブックスタート事業や読み聞かせ、各種の行事、講演会などに利用できるよう考えてまいります。</p>
<p>3.バリアフリー化 エレベーターは設置されていますが、スロープや出入り口の段差などの解消など利用者の目線にたったやさしい施設にして下さい。</p>	<p>その他、施設設計につきましては授乳室の設置のほか、高齢者や障がいを持った方々にも十分配慮した建物にしたいと考えております。</p>
<p>4.民間委託化はしないで下さい 今図書館の窓口業務を民間委託化すると検討されていると聞きました。読書相談をしたり専門的な内容に答えてもらうこともあり図書館業務は正規職員配置を要望します。</p>	<p>図書館の運営につきましては業務の効率化を図りながら、利用者サービスの向上につながるよう、様々な手法を検討してまいりたいと考えております。</p>
<p>4 対面朗読室ができるようですが、それと兼用でかまわないので録音室も計画していただきたい。(防音室がほしいので)</p>	<p>対面朗読室につきましては、防音に配慮した部屋の確保や、音訳用の録音機材等の配備を、目指したいと考えております。</p>
<p>5 図書館端末を未利用の時は、図書館利用メニュー画面を表示していますが使用しなくなってから例えば10分経過したら画面に時計を表示して欲しい。画面にタッチするかキーボードを操作すると利用メニューが表示されればよいと思います。現在の図書館では、広さの割りに時計が少なく感じます。端末に時間が表示されれば、便利になると思います。 ノンビリ本を読むこともよろしいですが、時間を管理して読書することも又大切だと思えます。</p>	<p>図書館では、来館された方がゆっくりと本を読んでいただけるような空間作りを目指しておりますが、ご指摘の時計を含めた什器備品類はわかりやすく使いやすい物を適材適所で配備してゆきたいと考えています。</p>
<p>6 住民です。 新しい図書館には、 ・駐車場を十分に用意する。 ・駐車場の台数は少なくとも、駐車時間を5分程度に制限して、回転を速くする。 ・返却や予約の本の貸し出しはドライブスルーで出来るようにする。 など、路上に駐車しなくてもよいようにしてほしいです。</p>	<p>駐車場につきましては、障がい者用を含め来館者用として4台分の確保を予定しております。駐車場の利用につきましては、隣接の施設の駐車場を含め効率的な利用が出来ないか関係部局とも協議してまいりたいと考えております。</p>
<p>7 買い物帰りに利用出来るように、ロッカーを設けて欲しい。</p>	<p>ロッカーの設置につきましては、場所の確保ができるか、検討してまいりたいと考えております。</p>